

香川県の政策

～「人生100年時代のフロンティア県」の実現～



令和6年2月
香川県政策部政策課

■ テーマ

1 香川県の特性

～香川県はどんなところか？～

2 香川県の現状と課題

～今、何が起きているのか？～

3 課題解決に向けた取組み

～県はどんなことをしているのか？～

1 香川県の特性

～香川県はどんなところか？～

温暖で暮らしやすい自然環境

- ・県土面積は、全国最小(1,876.92km²) R3.7.1
- ・人口は、950,244人(全国39位) R2.10.1
- ・人口密度は、506.3人(全国11位) R2.10.1
- ・日本で初めて指定された国立公園
「瀬戸内海国立公園」の中央に位置
- ・小豆島をはじめ、瀬戸内海に浮かぶ
110余の島々(有人島 24島)
- ・降水量は少ない(1,108.5mm/年 全国45位) R2

⇒ コンパクトで、

地震、台風などの自然災害が少ない安全・安心な県



県花・県木オリーブ



屋島からみた小豆島

独自の資源や伝統技術を生かした産業

- 県内一円に食品関連企業が多数立地
- 希少糖、オリーブなど特徴的な産業
- 多くのニッチトップ企業（シェア世界一、日本一企業）
日プラ(株):大型水槽向けアクリルパネル など



「希少糖含有シロップを使用した商品」



「オリーブオイル」

高品質な農水産物など特色ある県産品

- 全国一の生産量を誇るオリーブと、オリーブを活用した「オリーブオイル」、「オリーブ牛」、「オリーブ夢豚・オリーブ豚」、「オリーブ地鶏」、「オリーブハマチ」など
- 温州みかん「小原紅早生」、キウイフルーツ「香緑、さぬきゴールド、さぬきキウイっこ等」、いちご「さぬきひめ」などの県オリジナル品種を中心とする果物



いちご「さぬきひめ」



県オリジナルキウイフルーツ
「(左から) さぬきキウイっこ、香料、
さぬきエンジェルスイート、香緑、
さぬきゴールド」



温州みかん
「小原紅早生」



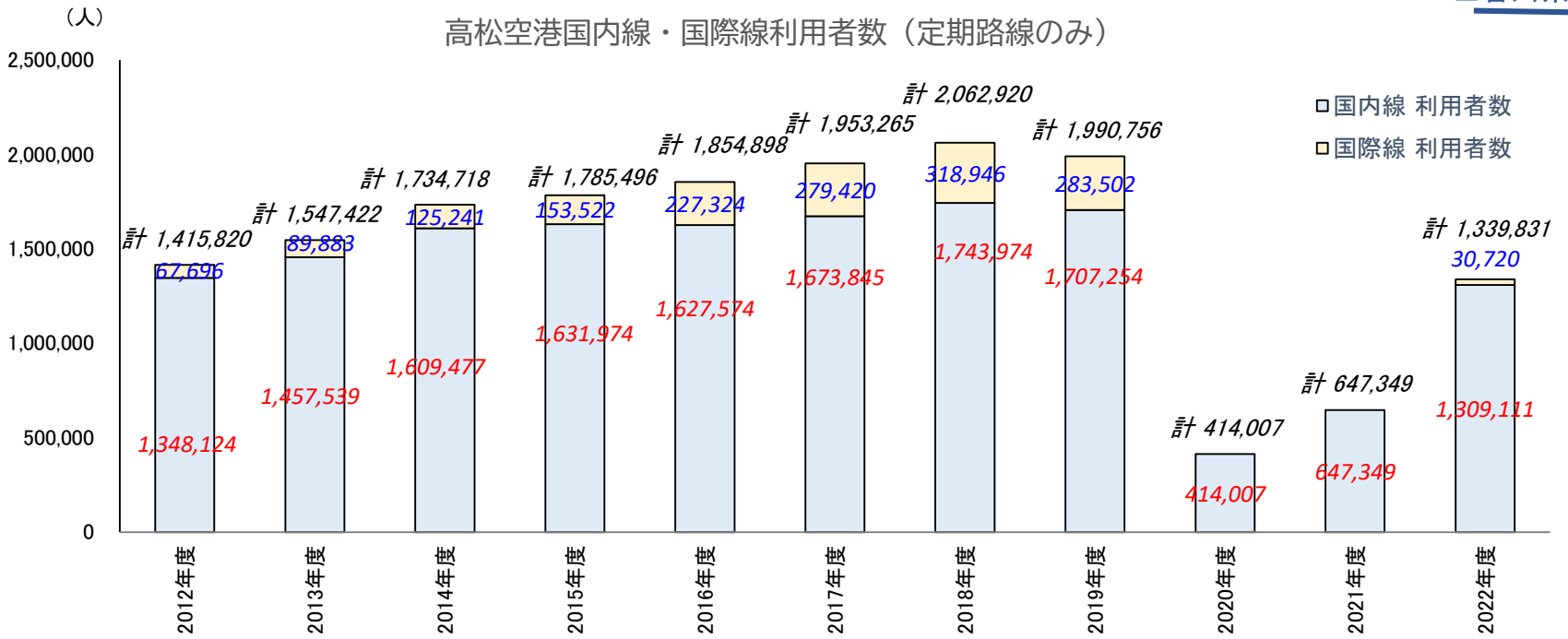
オリーブ牛

交通ネットワークの充実

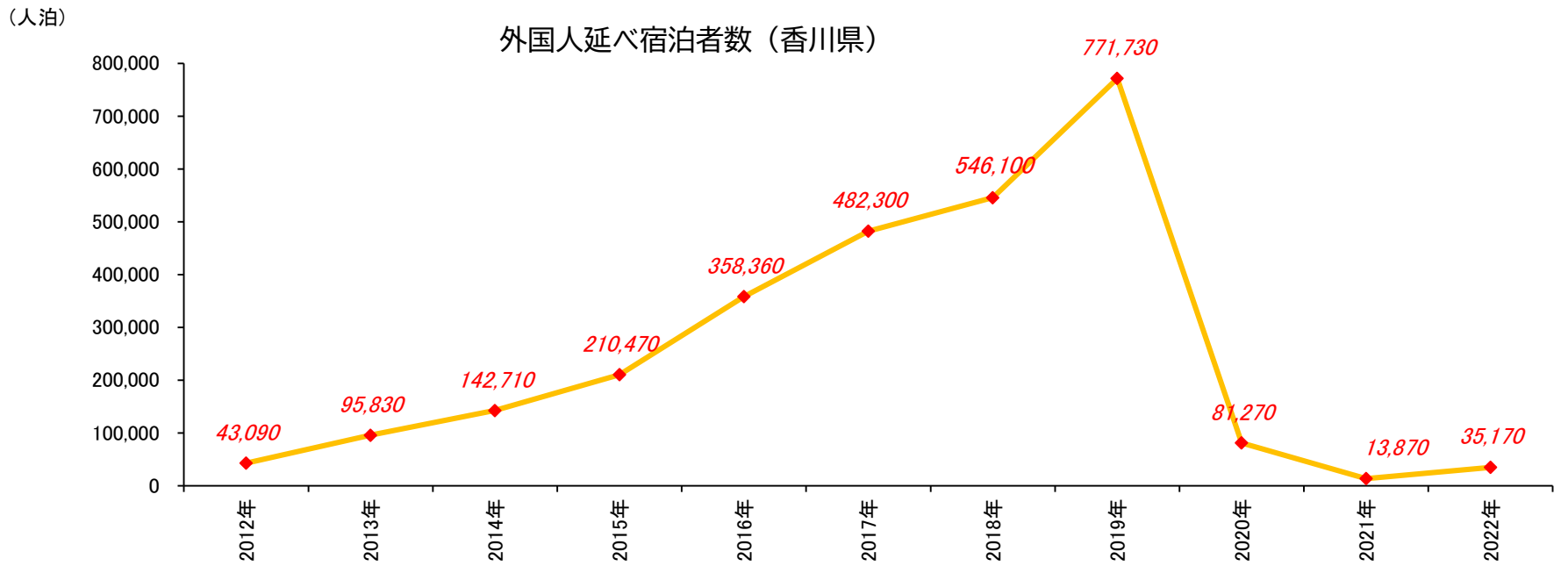
- 東西に横断する高松自動車道、本州とつながる瀬戸大橋
- 神戸航路等の国内航路
- 釜山、青島・大連、上海航路等の国際貨物航路
- 航空国内線：羽田、成田、沖縄線
- 航空国際線：ソウル、上海、台北線、香港線



高松空港国内線・国際線利用者数（定期路線のみ）



外国人延べ宿泊者数（香川県）



2 香川県の現状と課題

～今、香川県で何が起きているのか？～

1 社会経済の現状

1 人口減少の進行と地域活力の低下

- ・ 出生数の減少と若者の転出超過
- ・ 県内企業の人手不足が顕在化。有効求人倍率は全国よりも高い水準で推移
- ・ 農林水産業の就業者数は減少傾向、耕作放棄地が増加
- ・ 空き家問題の顕在化
- ・ 地域経済の長期的な縮小のおそれ
- ・ 税収減、行政サービスの低下、社会インフラ老朽化のおそれ

2 安全・安心への脅威の高まり

- ・ 高齢化や生活習慣病等による健康への不安
- ・ 医療資源の地域偏在、医療・介護制度の持続可能性への不安
- ・ 南海トラフ地震の発生確率の高まりや全国各地で多発する大規模な風水害
- ・ 全国平均を大きく上回る人口10万人当たり交通事故死者数

1 社会経済の現状

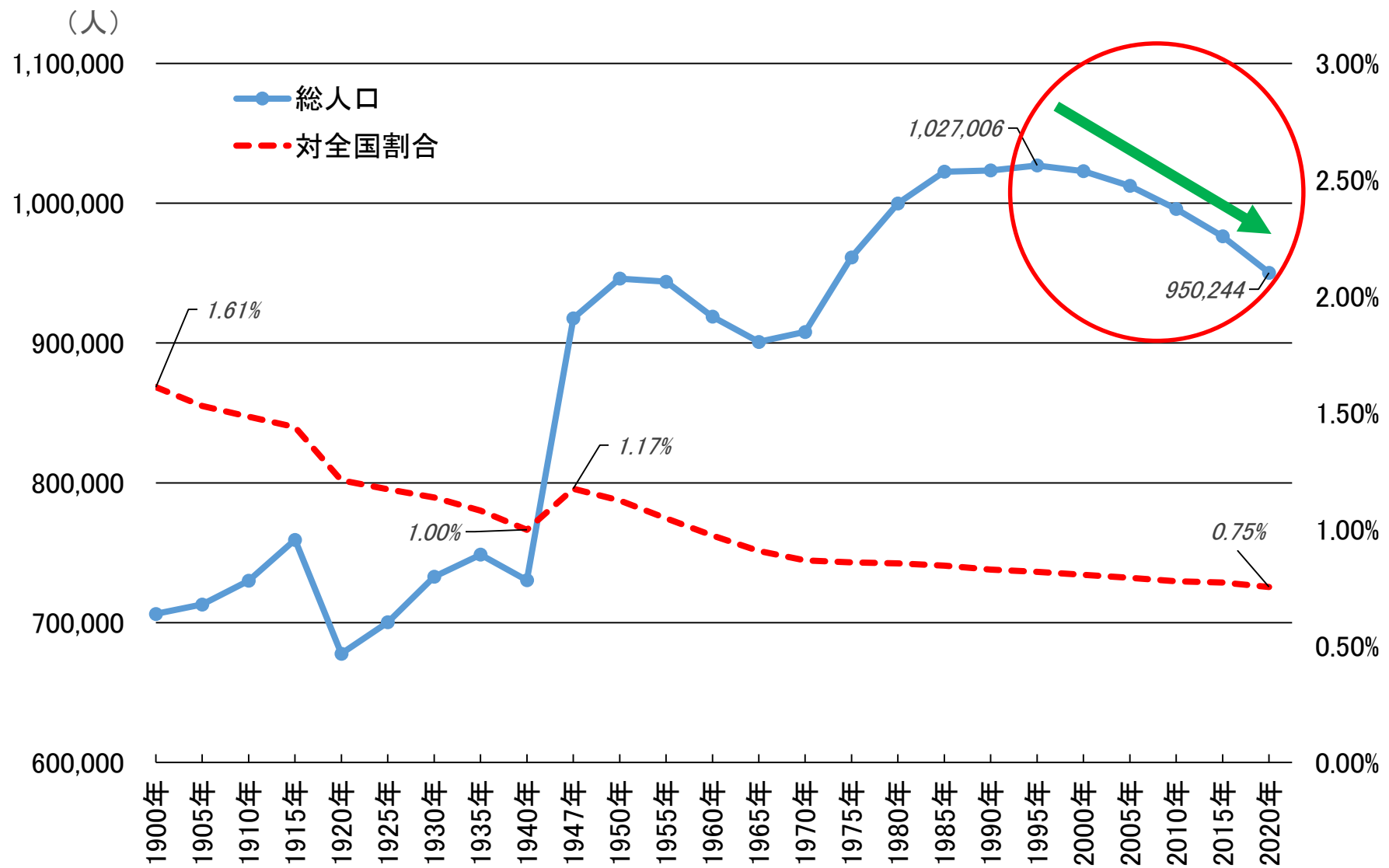
3 社会情勢の急激な変化

- ・ 新型コロナウイルス感染症や国際情勢不安定化の影響によるサプライチェーンの混乱、経済安全保障などの理由による製造業の国内回帰の動き
- ・ 地球温暖化による影響の深刻化のおそれと地球規模での取組みの要請
- ・ AIやビッグデータ、IoT、Web3.0などの技術革新の急速な進展とスマートフォンや5Gなどのデジタル技術の生活や産業への浸透

4 新型コロナウイルス感染症の拡大、社会経済活動への影響、新しい日常への移行

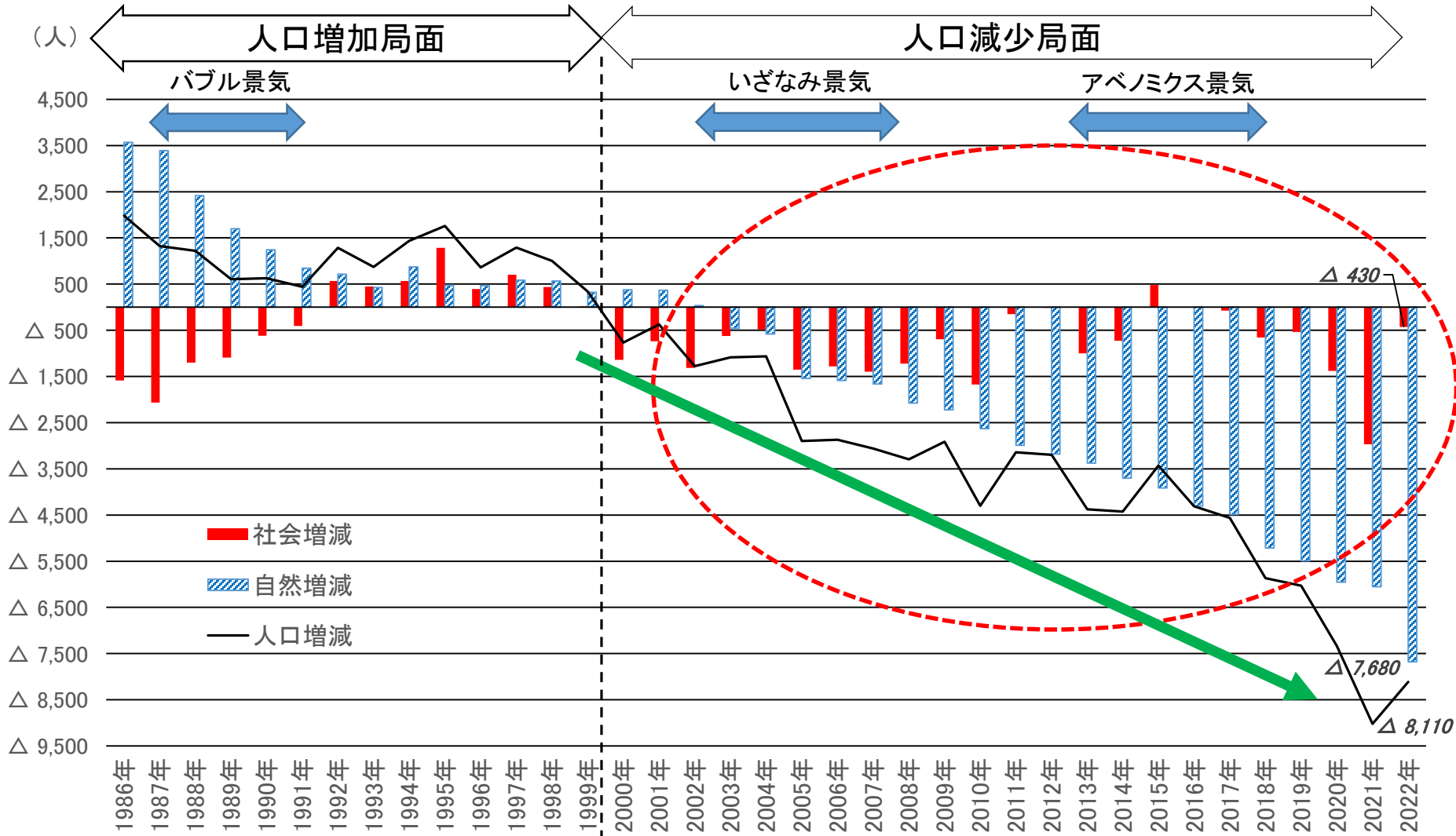
- ・ 新型コロナウイルス感染症の長期化と医療や保健所業務のひっ迫
- ・ 県民生活や飲食サービス業等の幅広い業種の企業活動に影響
近年増加傾向だった観光客数、宿泊者数も大きく落ち込み
- ・ 都市圏居住者の地方移住への関心の高まり
テレワークやオンライン授業の導入などのデジタル化が進展
- ・ 物価の上昇、食糧、エネルギー、資源の価格高騰
- ・ 国の水際対策の見直しなどにより拡大する観光需要

2 香川県の人口の推移



出典: 総務省統計局「国勢調査」

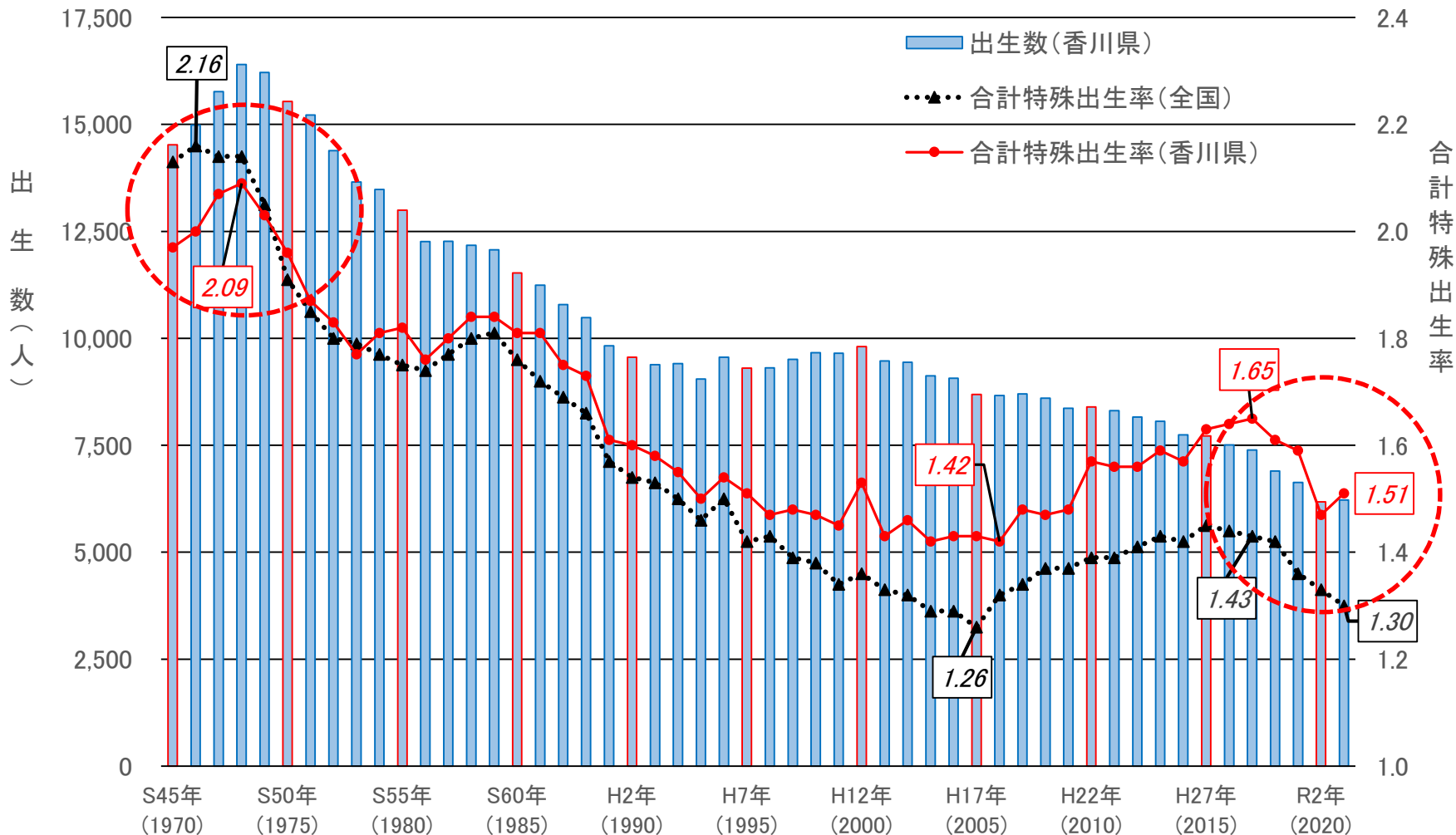
香川県の人口動態の推移



○社会増減：1992年(H4)～1999年(H11)は社会増であったが、2000年(H12年)以降は再び減少傾向から横ばい

○自然増減：2003年(H15)から自然減に転じ、減少幅が年々拡大

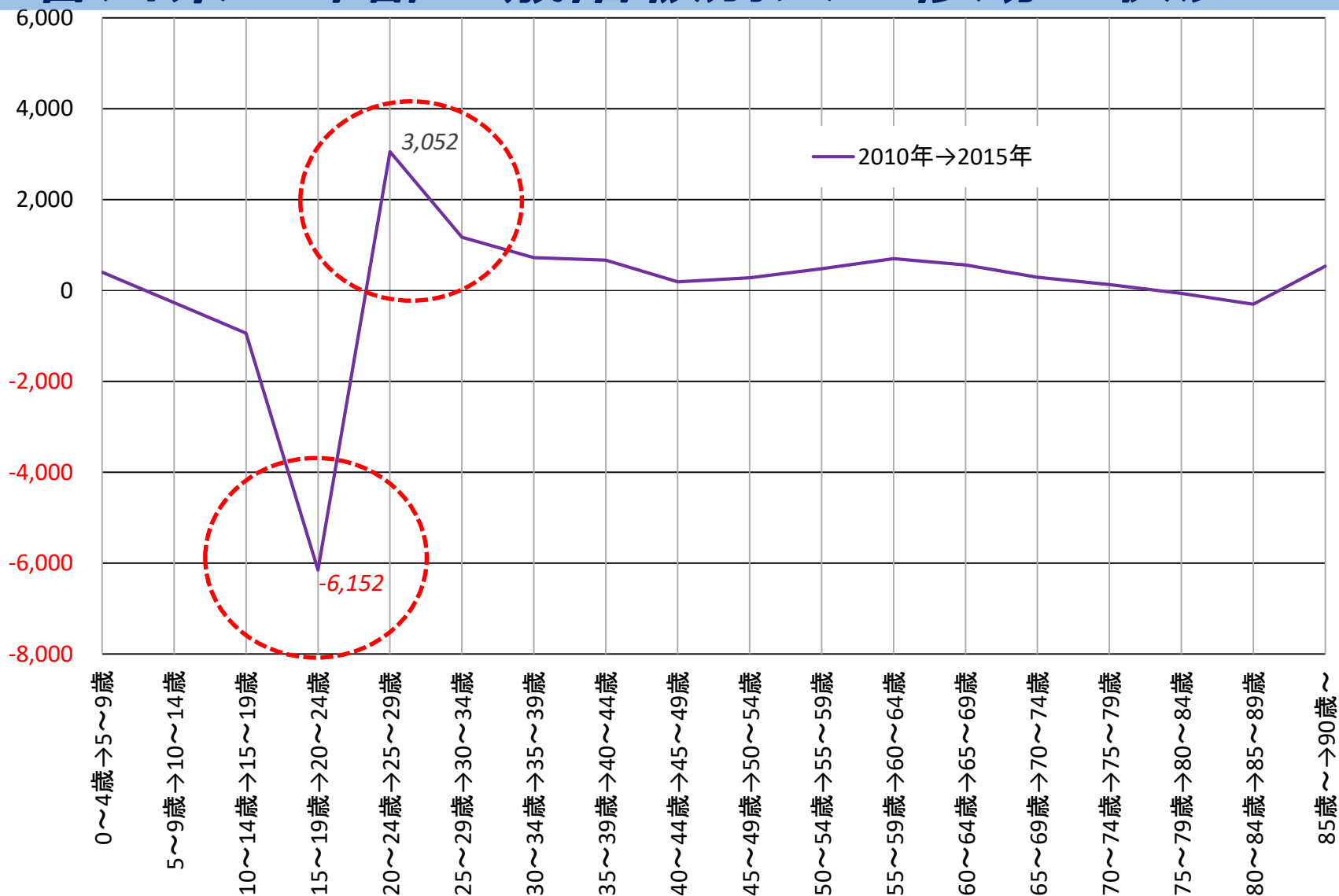
出生数と合計特殊出生率の推移



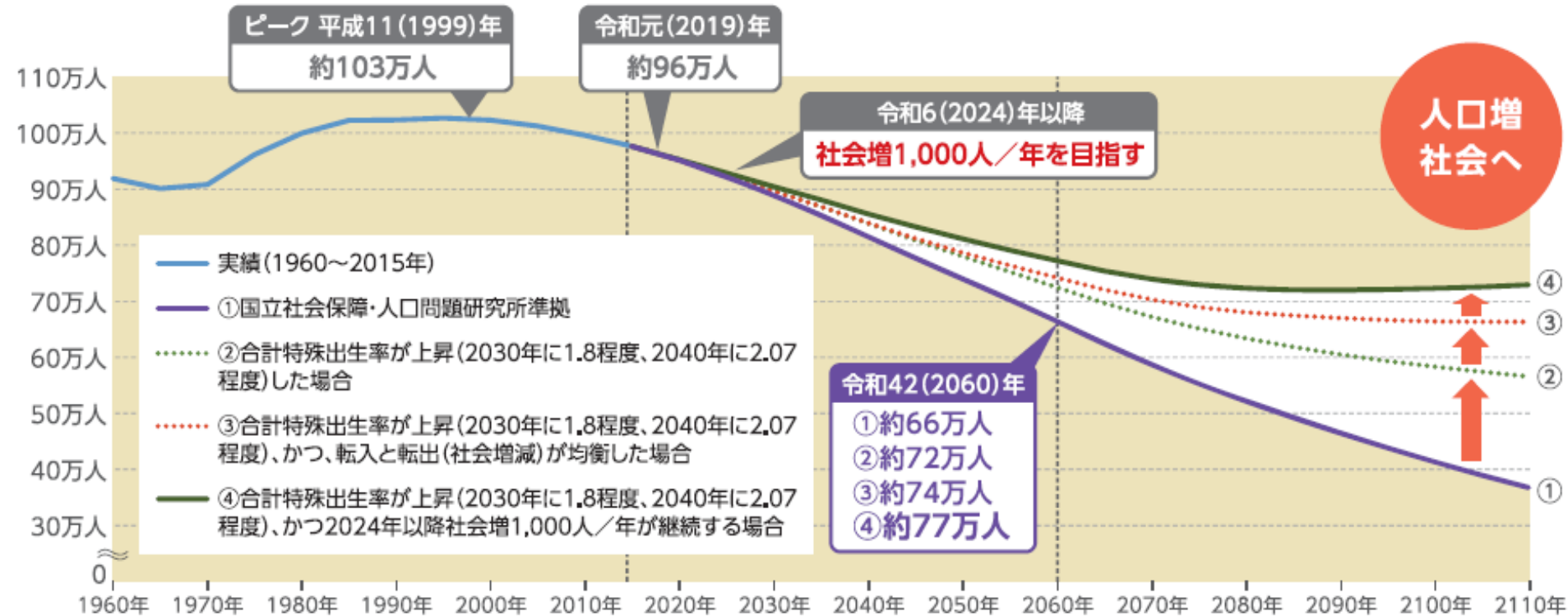
合計特殊出生率は、1973（昭和48）年の2.09から減少傾向にあったが、2003（平成15）年、2006（平成18）年の1.42を底に緩やかな上昇傾向しかし、2018（平成30）年以降が減少傾向に転じている

出典：厚生労働省「人口動態統計」

香川県の年齢5歳階級別人口移動の状況



香川県人口の推移と長期的見通し



3 課題整理(まとめ)

1 人口減少問題の克服と地域活力の向上

- ◎人口の社会増への転換、自然減の緩和
- ◎女性・高齢者等の活躍
- ◎地域経済の活性化 など

2 県民の暮らしを守る環境づくり(安全・安心への対応)

- ◎健康・医療・福祉施策の充実
- ◎着実な防災・減災対策
- ◎交通事故・犯罪の抑止 など

3 社会情勢の急激な変化への対応

- ◎サプライチェーンの国内回帰を捉えた産業誘致
- ◎地球温暖化対策
- ◎デジタル技術や先端技術の利活用 など

4 新型コロナウイルス感染症の拡大防止と 社会経済活動の回復、新しい日常での成長

- ◎医療提供体制の整備
- ◎地域経済の回復
- ◎新しい日常を前提とした成長
- ◎エネルギー価格・物価高騰対策
- ◎地域間競争の激化への対応 など

3 課題解決に向けた取組み

～県はどんなことをしているのか？～

香川県総合計画

せとうち田園都市香川創造プラン
(平成23～27年度)
「せとうち田園都市の創造」

- 元気の出る香川
- 安心できる香川
- 夢と希望あふれる香川づくり

新・せとうち田園都市創造計画
(平成28～令和2年度)
「せとうち田園都市の新たな創造」

- 成長する香川
- 信頼・安心の香川
- 笑顔で暮らせる香川づくり

「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画
(令和3～7年度)
「せとうち田園都市の確かな創造」

- 安全と安心を築く香川
- 新しい流れをつくる香川
- 誰もが輝く香川

「人生100年時代のフロンティア県・香川」実現計画
(令和3～7年度)
「人生100年時代のフロンティア県の実現」

- 安全・安心で住みたくなる香川をつくる「**県民100万人計画**」
- 活気に満ち挑戦できる香川をつくる「**デジタル田園都市100計画**」
- 多くの人が行き交い訪れたくなる香川をつくる「**にぎわい100計画**」

「人生100年時代のフロンティア県」の実現

人生100年時代を迎える中、すべての県民が生涯のあらゆる段階で活躍し、人生の豊かさと幸せを実感しながら安心して暮らすことができる地域社会を全国に先駆けて実現することを目指す

県民100万人計画

(安全・安心で住みたくなる香川をつくる)

- ① 「子育て県かがわ」をつくる
- ② 教育の充実
- ③ 女性や高齢者、障害者が活躍する社会づくり
- ④ 安心できる医療・介護体制を構築
- ⑤ 災害や湧水に強い県土をつくる
- ⑥ 交通事故や犯罪のない安全安心な社会をつくる
- ⑦ 人口100万人計画

デジタル田園都市 100計画

(活気に満ち挑戦できる香川をつくる)

- ⑧ 産業拠点香川へ
- ⑨ 「四国の玄関口」として確かなインフラ整備を進める
- ⑩ 農林水産業の先進県へ
- ⑪ 県産品の販路拡大
- ⑫ あらゆる世代・人材で香川の産業を支える
- ⑬ グリーン社会の実現
- ⑭ デジタル社会を形成する

にぎわい100計画

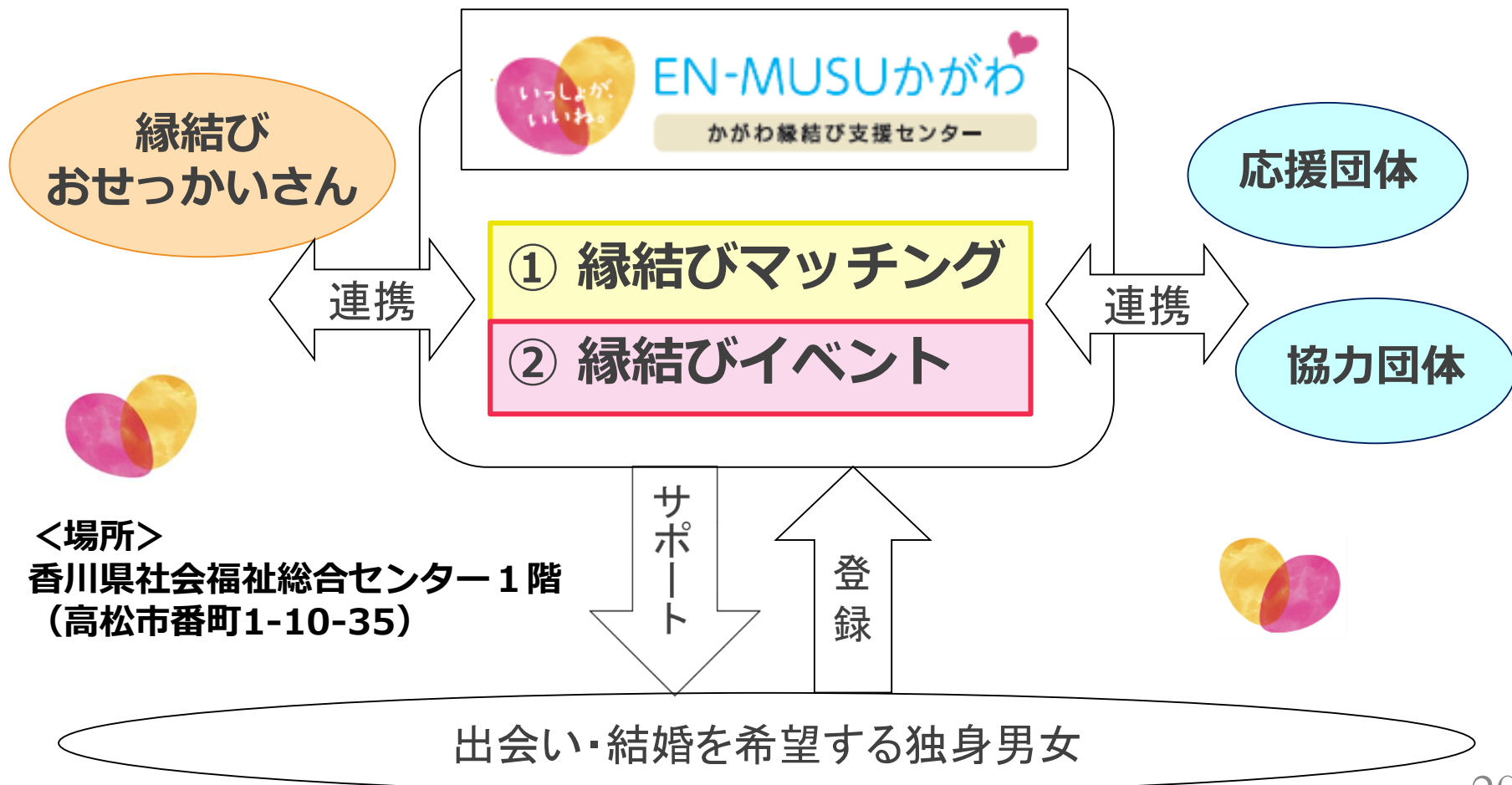
(多くの人が行き交い訪れたくなる香川をつくる)

- ⑮ 観光客2割UPを目指して
- ⑯ まち全体の美化推進
- ⑰ 文化芸術、スポーツの振興による地域活性化

「子育て県かがわ」をつくる

●結婚支援

「かがわ縁結び支援センター」(EN-MUSUかがわ)は、結婚を希望する独身者の出会い・結婚をサポートするため、香川県から公益財団法人かがわ健康福祉機構に委託して、結婚支援を行う拠点です。



●保育士の確保

- ・保育士人材バンク(平成25年度設立)の運営を通じ、保育士人材を確保
- ・県内保育士養成施設に在学する保育学生に修学等資金を貸付け
→ 県内で保育士として5年間従事した場合は全額免除
- ・保育士等の離職防止のため、臨床心理士、感染管理認定看護師などの専門家が保育士等が抱える不安や悩みの相談を受け
助言等を実施



●不妊対策

- ・不育症治療・検査、妊孕性温存治療に要する費用の一部助成
- ・不妊症や不育症の相談体制を整備

●児童虐待への対応など

- ・児童虐待に対応する児童相談所の体制強化、保護者等への指導・支援 など
- ・子どもや家庭に関する、さまざまな相談に対応
(子どもと家庭の相談窓口 087-862-4152〔よいこに〕)
- ・県内におけるヤングケアラー※への支援

※ヤングケアラーとは

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。

少子化対策局面打開パッケージ（R5）

1, 837百万円

夢と仲間を持つ子育ての実現

【全て新規又は拡充事業】

経済的負担の軽減

子育て拠点の充実

みんなで子育て

子ども医療費助成 1,007百万円

市町が行う子ども医療費支給事業に対する補助

★対象年齢：小学校就学前 ⇒ **小学校3年生まで**に拡充
(所得制限なし)

★第3期かがわ健やか子ども基金 300百万円

・支援期間：令和5年度から令和7年度

★次代を担う若者のライフデザイン講座 2百万円

★県立高校教室空調経費の公費化 174百万円

県立高校等の普通教室、特別教室の冷暖房経費の**公費化**による保護者負担の軽減

★保育の充実 54百万円

①**保育の受け皿拡大** 24百万円
待機児童を受け入れるために必要な保育士の派遣に要する経費を一部支援

★男性の家事・育児参画の推進 6百万円

・家事育児実践講座の開催
・男性従業員向け講演会の開催

不妊治療助成 72百万円

保険適用後の不妊治療の経済的負担の軽減

- ①**上限5万円**/回 ※高松市を除く
- ②5万円を超える**自己負担増加額の全額**/回

②**一時預かりの拡大** 16百万円
一時預かり事業を行うために必要な保育士の派遣に要する経費を一部支援

★女性の働く未来応援事業 2百万円

県内企業の経営者等を対象に、女性就労の促進に向けたシンポジウムを開催。

③**保護者・保育者負担軽減のための紙おむつ処分支援** 14百万円

私立保育所等に対して、使用済み紙おむつの処分費用を支援
・市町が補助する額の1/2

★女性向けビジネススキルアップ研修 1百万円

・受講期間：2週間 60時間程度(予定)
・定員：各20名程度(年2回開催予定)

★産後ケア交通費の補助 3百万円

・対象経費：産後ケアサービスに必要な交通費
・補助上限：**1万4千円**/回（5回まで）

★子育て拠点の充実に向けた調査・検討 1百万円

★高等技術学校訓練時の託児サービスの提供 3百万円

出産・子育て応援交付金 135百万円

妊娠届出時・出産届出時に**各5万円相当**を支援

※主な事業を掲載

★第3子以降の学校給食費無償化の検討(R5～)

災害に強い香川づくり【ソフト対策】



◆防災アプリ活用による避難行動促進事業

- ・R2年度に導入した防災アプリ「香川県防災ナビ」を有効に活用し、各市町と連携して避難体制を強化

◆自助・共助対策推進事業

- ・市町が実施する防災・減災対策のうち、県民の自助・共助の強化につながる取組みやデジタル化・脱炭素化などの防災面での新たな課題への取組みを支援

◆地域防災力強化促進事業

- ・自主防災組織の結成促進や活動活発化など、県民の自助・共助の強化につながる取組みを支援

◆民間住宅耐震対策支援事業

- ・民間住宅の耐震化を促進するため、耐震診断や耐震改修に対する補助制度により、市町と連携して住宅の耐震化を支援



災害に強い香川づくり 【ハード対策】



【地震・津波対策工事】

◆地震・津波対策海岸堤防等整備事業

- ・南海トラフ地震の被害想定を踏まえて策定した「地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、優先箇所から重点的・集中的に護岸等を整備

◆河川・海岸・砂防事業

- ・風水害や土砂災害などの自然災害を未然に防止するため、計画的・効率的な河川改修、砂防施設の整備 等



【ため池の耐震補強工事】

◆ため池の整備等事業

- ・中小規模ため池の耐震補強工事
- ・老朽ため池の計画的な改修工事 等

移住・定住の促進

◆市町等と相互に連携・協力を図りながら、移住・定住施策を実施

- ・東京・大阪での移住フェア等の開催
- ・HPや情報誌による本県の魅力の情報発信
 ※かがわ移住ポータルサイト「かがわ暮らし」
<https://www.kagawalife.jp/>
- ・各種支援制度の充実 等



【移住フェアの様子】



【かがわ移住ポータルサイト「かがわ暮らし」】

せとうち企業誘致100プラン (R5)

3,418百万円

企業誘致100プラン推進

★「せとうち企業誘致100プラン」の推進 13百万円

- ・ 広報啓発ツール作成
- ・ WEBサイト、インターネット広告によるPR
- ・ 産業フェアやマッチングイベントへの出展
- ・ 首都圏、関西圏における経済人等の人的ネットワークの活用
- ・ 企業等へのトップセールスの実施

工業用地の確保

★民間事業者による工業団地整備に対する新たな助成制度の創設 【工業団地完成時に最大5億円】

①助成要件

- ・ 分譲可能面積5ha以上
- ・ 製造業の工場・試験研究施設、物流拠点施設、データセンター等の立地用地
- ・ 事業採算性、企業立地の見通しがあること

②補助率

- ・ 分譲用地を除く公共用地の土地取得費と工事整備費の1/2

③補助上限

- ・ 上限5億円

企業誘致助成

香川県企業誘致条例に基づく助成金 2,996百万円

①企業誘致助成金制度【上限5億円】

(工場・物流拠点施設の場合)

- ・ 投下固定資産額×10%(1回目)、5%(2回目)
- ・ 新規雇用者数×50万円(11人～)、100万円(51人～)

【令和5年度助成額】

対象企業数23社 2,996百万円

★②制度拡充

(1)情報処理関連施設(情報処理サービス業、ソフトウェア業等)

- ・ 投下固定資産額×15%(1回目)、10%(2回目)
- ・ 事務所賃借料 ×50% (3年間 → ★5年間)
- ・ 通信機器賃借料×50%(1年間)
- ・ 新規雇用者数(6人～)×50万円(1年間 → ★3年間)

(2)本社機能の県内移転・拡充

- ・ 投下固定資産額×15%(1回目)、10%(2回目)
- ・ 事務所賃借料 ×50% (3年間 → ★5年間)
- ・ 事務所改装費 ×50%(1年間)
- ・ ★通信機器賃借料×50%(1年間) ※新設
- ・ 新規雇用者数×50万円(11人～)、100万円(51人～)

★③制度創設

カーボンニュートラルポート形成支援助成金【施設完成時に最大5億円】

対象地域：港湾脱炭素化推進計画策定区域

対象施設：以下4分野の工場及び関連施設

- ①次世代再生可能エネルギー分野
- ②水素・燃料アンモニア産業分野
- ③資源循環関連分野
- ④カーボンリサイクル・マテリアル分野

補助率等：

- ・ 投下固定資産額の15%(10億円以上×10%)
- ・ 新規雇用者数×50万円(11人～)、100万円(51人～)

26

内海港草壁地区埋築事業

111百万円

埋立地を工業用地として基盤整備

観音寺港観音寺地区埋築事業

298百万円

埋立地を工業用地として基盤整備



スタートアップへの支援 (R5)

64百万円

拠点確保支援

★香川県スタートアップスクエア事業 1百万円

香川インテリジェントパークを県内スタートアップの集積地とする「香川県スタートアップスクエア」を目指し、活動拠点となる起業家向けの専用オフィスを提供

- ・入居室数：10室
(ネクスト香川、フロム香川 等)
- ・賃料：規定賃料の1/10
※県が実施するビジネスチャレンジコンペ受賞者（上位3名）は無料
- ・支援期間：1年間
※入居後1年経過後は規定賃料で継続して入居可能（最長5年間）
- ・入居要件：
 - ①創業後5年以内の事業者
 - ②過去3年以内に創業支援塾等を受講等

伴走支援

香川県スタートアップ伴走支援事業 12百万円

①スタートアップ経営相談窓口 11百万円

かがわ産業支援財団に設置している「経営相談窓口」を拡充強化し、各種相談に対応

★窓口開設日：週3日 ⇒ 週5日

②かがわ創業塾 1百万円

中小企業診断士や先輩起業家から、ビジネスアイデアの創出モデルや経営に必要な知識を習得する講座を開催

成長加速化支援

香川県スタートアップ成長加速化事業 45百万円

★①スタートアップ成長加速化支援補助金 15百万円

「ビジネスチャレンジコンペ」を開催し、優秀なビジネスプランに対し、事業化に要する経費を支援するとともに専門家による伴走支援を実施

- ・受賞者に対する支援
 - 最優秀者：500万円×1名
 - 優秀者：300万円×2名
 - 奨励者：200万円×2名
(補助金、補助率10/10)

②起業等スタートアップ支援補助金 30百万円

創業や第二創業等の初期段階に要する経費を補助
・補助率：1/2（上限：200万円）

拠点確保
支援

伴走支援

成長加速
支援

香川県スタートアップスクエア



★「かがわスタートアップカンファレンス」設置・運営事業 6百万円

- ・金融機関やベンチャーキャピタルをはじめ、本県のスタートアップ支援に携わる関係機関で構成
- ・本県独自のスタートアップ支援のあり方を検討
- ・スタートアップを目指す人材の育成から伴走支援まで、一体的に支援



情報通信関連産業の育成・誘致

「人が集い、学び、交わり、共創する、オープンイノベーション拠点」

香川県では、情報通信関連産業の育成・誘致に取り組んでおり、新たなオープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」において、情報通信関連分野の人材の育成や活動・交流の場の提供、ビジネスマッチング支援等を行っています。



▲人材育成事業



▲活動・交流支援



▲ビジネスマッチング支援



コワーキング・コラーニングスペース

ドリンク
コーナー

ミーティングブース

受付

デジタル編集室

TV会議室

ライブラリー

創作工房

ミーティングルーム

プライベートブース

テレワークブース

ミーティングルーム



県立アリーナの整備

「競技スポーツ施設」、「生涯スポーツ施設」及び「交流推進施設」としての機能を併せ持つ、県立アリーナをサンポート高松に整備

◆特徴

- ・様々な用途に利用できる多目的アリーナ
- ・最大収容人数は中四国最大級の1万人
- ・交流エリアを設けた新しい発想のアリーナ
- ・サンポートの環境に調和した利用しやすい施設

◆建設地

サンポート高松

◆スケジュール

H30年度～	基本・実施設計
R4年度～	建設工事
R6年度中	開設予定

【新県立体育館の外観イメージ】



※新県立体育館へのアクセス利便性向上のために検討しているキャンピ一等の整備については、パース上は示していない。

物流・人流を支えるネットワークと拠点の整備 (R5)

4, 180百万円

幹線道路ネットワーク構築

さぬき浜街道(五色台工区)整備
3, 035百万円



空港連絡道路(香南工区)整備
436百万円



海上物流基盤の強化

高松港国際物流ターミナル整備
454百万円



高松港複合一貫輸送ターミナル整備
185百万円



高松空港の機能強化

空港整備費負担金
70百万円

- ・滑走路端安全区域 (RESA)
灯火改良 など



農林水産業の先進県へ ～オリーブ産業の強化～

1. オリーブの生産基盤強化

- オリーブの生産振興
- 産地を支える人材の確保・育成



県オリジナル新品種「香オリ3号」、「香オリ5号」

2. オリーブオイルの高品質化

- 国際機関と連携した品質管理体制の強化
- かがわオリーブオイル品質表示制度の普及



小豆オリーブ研究所
官能評価室



品質表示制度

3. 多様なオリーブ関連商品群の充実

- オリーブの魅力を生かした商品開発と支援
- 高品質なオリーブ畜水産物の安定生産



小豆島産オリーブ果実
エキスを使った化粧品



オリーブ牛・オリーブハマチ

4. 戦略的な情報発信と販売促進

5. オリーブを生かした地域・経済の活性化

- ブランド力の強化につながる情報発信 など
- 生産者と観光事業者等との連携強化 など



香川県産オリーブ
関連商品(認証商品)



オリーブ収穫体験

ワークサポートかがわにおける県内就職支援

ワークサポートかがわ(就職・移住支援センター)を2017年(平成29年)4月に開設

県内外の若者と県内企業とのマッチング、無料職業紹介を行うとともに、県内企業の魅力や情報の発信に取り組む。



- ◆香川県で正社員就職を考えている方に、就職・インターンシップに関する情報提供やマッチングを行うサイト「ワカサポかがわ」を運営



- ◆専門のコーディネーターによるきめ細かな対面相談や指導、オンライン就活相談などの実施

- ◆オンライン就職説明会の開催や「Web版かがわ企業ガイド」の配信



脱炭素社会に向けた地球温暖化対策 (R5)

1,097百万円

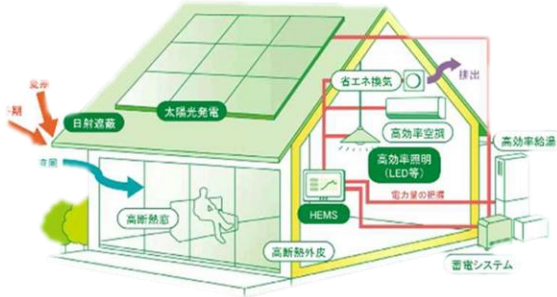
家庭・企業の脱炭素推進

かがわスマートハウス促進事業 168百万円

ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)導入支援
・補助単価:20万円

★・子育て世帯、複数世代同居は5万円加算

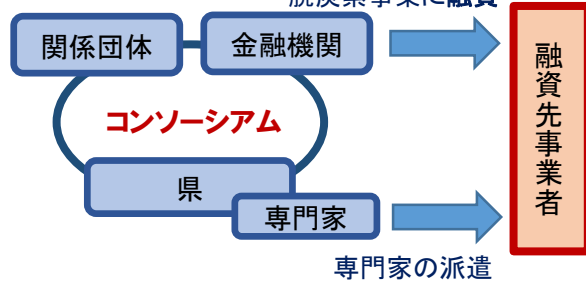
太陽光発電、蓄電池、V2Hの設置補助



かがわゼロカーボンシフト支援事業 13百万円

脱炭素専門相談窓口の設置(環境保全公社)
民間事業者の脱炭素事業を支援する
ESG(環境配慮型)融資の促進

脱炭素事業に融資



太陽光(熱)エネルギーの最大限活用

★初期費用ゼロ太陽光発電設備 導入促進事業 2百万円

リース、PPA(電力販売契約)の広報啓発

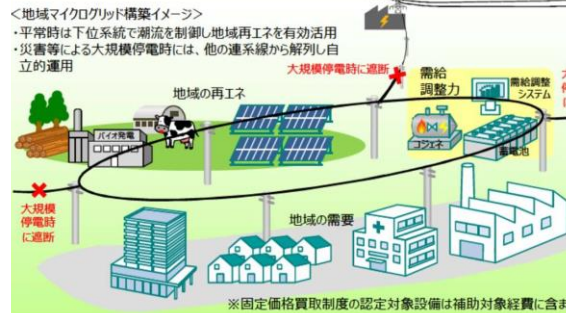
太陽光発電設備導入可能性調査事業 10百万円

県有施設で導入可能性の調査を実施



★地域脱炭素導入支援事業 5百万円

市町職員や地元関係者を対象に
地域マイクログリッド等の勉強会の実施



吸収源対策

森林資源の活用 造林事業 178百万円



ブルーカーボンの活用 藻場整備等 134百万円

新エネルギーの利活用

★カーボンニュートラルポット形成支援助成金 エネルギー関連分野の工場等建設への助成金を創設



坂出港及び高松港で検討

観光誘客・にぎわいづくり(R5)

397百万円

観光需要喚起

全国旅行支援に続く旅行助成 333百万円

全国旅行支援等の終了による観光需要の落ち込みを緩和し、継続的な観光需要を喚起

- ・実施期間：令和5年5月～10月（予定）
- ・助成内容（宿泊助成）：補助率20%以内、上限3千円/泊

★魅力発見ハッシュタグ キャンペーン 3百万円

旅行者の方などに県内の魅力をSNSに投稿してもらうキャンペーンを実施

- ・対象者：県民又は県外観光客
- ・対象期間：令和5年6月～令和6年1月
- ・キャンペーン景品：旅行チケット、県産品など



島旅による誘客

★島へ行こうキャンペーン 23百万円

①キックオフイベント

- ・安藤忠雄講演会
- ・知事と島民とのパネルディスカッション

②新ツアーの造成、実施

・島お手伝い旅

ごみ拾いや草刈りなど島のお手伝いをすることで、島民も観光客も心がホッと温まるミニツアー

・島滞在旅

島をメインコースとした島滞在型ツアー



・島クルーズ旅

島々ならではの自然や食、文化を生かしたクルージングツアー

③マザーポートイベント

県内の島々を結ぶマザーポートの1つである高松港での交流イベント

大阪・関西万博に向けた需要開拓

★大阪・関西万博に向けた需要開拓 8百万円

「瀬戸内海」、「アート」、「遍路」等を中心とした旅行商品の造成やプロモーション

- ・国内航空路線誘致に向けた市場開拓
- ・大阪・関西万博2025に向けた富裕層の誘客促進



イベントを活用した誘客

弘法大師空海御誕生1250年祭 5百万円

★瀬戸大橋開通35周年 23百万円

- ・「せとうち島旅フェス」での共催イベント
- ・「さかいで大橋まつり」と連携した花火大会の実施

★高松港周遊クルーズ 2百万円

- ・都市大臣会合の機運を醸成するため、高松港における周遊クルーズイベント

瀬戸内国際芸術祭 ～SETOUCHI TRIENNALE～

- ◆ 2010年に始まり、3年に1度のトリエンナーレ方式で開催される日本を代表するアートフェスティバル
- ◆ 瀬戸内の島々を舞台に、現代アートや建築を手がかりに地域の再生をめざす試み
- ◆ 5回目となる「瀬戸内国際芸術祭2022」は、令和4年4月14日～11月6日の間の105日間開催した。

